

令和3年度 市長のタウンミーティング実施報告書

会場名	ありそドーム	日時	10月9日(土) 14時00分より 15時30分まで	参加者数	19名
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画部長、情報広報課長、企画政策課長	司会	情報広報課 宮野 浩一		

1. 市長談話

市長 村椿 晃 「新時代の魚津のまちづくり」を語ろう

第5次魚津市総合計画 ～ともにつくる 未来につなぐ 人と自然が輝くまち魚津～

①魚津市の最近の話題

- 東京2020パラリンピック 魚津市から2人のメダリストが誕生！
- 新型コロナワクチン接種状況
- 魚津市財政健全化計画の進捗状況
 - ・基金繰入に頼らない持続可能な行財政運営の確立
 - ・緊急時に備えた貯金残高の確保
- 魚津市のふるさと納税の状況

②「第5次魚津市総合計画」について

- 総合計画紹介番組放映
「つくろう！魚津のまち～教えて！ソーゴーケーキ」12分38秒
- 魚津市の人口推移と将来人口
- 雇用の場づくり
 - ・魚津市大規模投資を伴う雇用拡大奨励金の創設
 - ・女性活躍社会推進事業
 - ・魚津の農林水産業体験・応援プロジェクト
 - ・6次産業化関連の取組
- 住宅対策
 - ・魚津市子育て新婚世帯住宅取得支援補助金の創設
 - ・居住誘導区域住宅取得支援補助金の創設
 - ・空家対策支援事業
- 子育て支援
 - ・切れ目のない子育て支援
 - ・子育て環境の整備（検討中）
- 健康づくり
 - ・高齢者の保健・介護予防の一体的事業
 - ・高齢者の生活支援の充実

③魚津市制施行70周年記念事業

- 魚津市制施行70周年記念事業シンボルマーク

2. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

○空き家対策について

空き家の解体への補助の基準を緩和できないか。

（村椿市長）

これまではこれ以上放っておくと倒壊の可能性があるような建物を対象にしていました。空き家が解体されることにより新たに建て替えが進み、新しい方が住むようになれば効果があるので考えていきたいが、個人の所有する空き家には手を出しにくいのが現状です。解体を目的とするだけでなく、新たなまちづくりとセットで補助をすることなどを検討していきます。

○コウノトリプロジェクト（婚活事業）について

（部外者からは）どのように取り組んでいるのかわかりにくい。（お手伝いをしている方からは）担当課の職員の熱意は感じるが、市としての真剣度に疑問を感じている。

（村椿市長）

この2年間はコロナ禍で事業は難しかったが、これまで市として結婚の増加に結び付くような取り組みをどこまでやってきたかと問われると反省すべき点も多い。今後も色々な方にサポートしていただきながら、多くの人に参加できるような取り組みを考えていきたいので、またお知恵を貸していただければと思います。

○農業の将来について

農業人口が減少している。以前から農業は基盤整備を行い大型化を目指すという発想で進めてきたが、これからの時代に向けての将来イメージは？

（村椿市長）

これからは農作業の効率化や作業の安全の確保などが重要になってくると思います。総合計画の中にスマートシティ推進とありますが、労働人口が減少している分野へ新しい技術を導入することで、今までより少ない人数でカバーでき、なおかつ安全になるようにしたいと考えています。

○生涯学習について

地域に根差したサロン活動を活性化させることが高齢者の生きがいくくりになるのではないか。

（村椿市長）

各地域には色々な特技や個性を持つ方がおられます。地域の交流の場については、すべての地域に同じものを作るのではなくて、地域の特性に合わせて規模や内容が異なるものであると思います。これらの活動をボランティアなどで支えてくれている人を行政が応援する方向に持っていきたいです。

○財政健全化・ふるさと納税について

財政健全化計画が素晴らしい。ふるさと納税については、急激に1～2億円も増えた牽引力を教えてください。

(村椿市長)

財政健全化については特定の部署ではなくすべての職員ががんばった結果と思っています。

ふるさと納税については市長である私が大号令を掛けたわけではありません。魚津市には特色のある産品が多くあって、担当職員が働きかけを行うことで多くの種類の返礼品が集まりました。もともと世の中にニーズがあり、それに応えられるようになったことが大きいと思います。金額は県内で氷見市、高岡市に次いで3番目に多い。最近では返礼品用として金製品のジュエリーを開発してもらい人気となっています。またこの時期(秋～冬)に最も人気となっている返礼品はお米です。

○市のPRについて

市外から見て魚津市はどういう所と思われると思うか。マスコミを通じて全国に宣伝されるようになってほしい。

(村椿市長)

魚津市は、りんご、なし、ぶどう、カニ、水など市外県外へアピールできる材料は多いが、圧倒的なボリュームを持つものがないのが実情です。私としては「魚津のカニ」を漁師の方や産業界と協力しながら一押しとしてPRしていきたい。

○交流人口の増加について

現在名称募集中の(黒部峡谷)黒部ルートについて魚津市がどのように交流人口をつかむもうとしているのか。

(村椿市長)

2024年に一般開放される黒部ルートは年間1万人の利用が見込まれています。私はこのルートがおそらく価格設定の高い観光コースになると想像していて、それに合わせた観光メニューの開発が必要と思っています。

○施策の優先順位について

市民の意見を取り入れながら施策の優先順位を強い意志を示すべきでは。また市の庁舎が古い。職員と来庁者の安全を守れるのか。

(村椿市長)

総合計画には実は具体的に何をするとか何を造っていくとかは書いてありませんが、温水プールについては整備基本計画を策定して進めています。

本庁舎については、今の公共施設再編計画では令和11年まで建て替えるとなっています。財政健全化の目標達成が見えてきた段階でスケジュールを公開したいと考えています。